



たかはるちょう

第66号

平成30年12月定例会(第5回)

議会だより



謹賀新年

もくじ

- 12月定例議会のあらまし・・・P2～P3
- 一般質問・・・・・・・・・・・・P4～P8
- 行政調査報告・・・・・・・・・・P9～P10
- 茶飲み場紹介・・・・・・・・・・P12



町鳥・仏法僧
フッコウソウ



町花・みやまきりしま



町木・たちばな

■発行／高原町議会
 ☎889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-5138
 ■発行日 平成31年2月1日

■編集／議会だより編集委員会



the most beautiful
villages
in japan

2019

本年もよろしくお願ひします

ごあいさつ



高原町議会議長
宮 司 勲

新年あけましておめでとうございます。

今年は平成最後の新年、そして5月1日から施行される新元号の元年に当る年でもあります。元号が変わるこの記念すべき年を本町が将来を見据えた力強い第一歩を踏み出す契機となる年にしたいものです。

平成26年に日本創生会議が将来の人口減少により、社会保障等が難しくなる恐れがある自治体を消滅市町村として発表し、その中に本町も含まれていました。

本町が平成28年に策定した人口ビジョンでは45年後の人口を5000人と想定しています。

今後も確実に人口が減少していく中で、いかに若者の町外への流出を食い止めるかが大きな課題であります。

端的に言えば若者の定住と子育て支援をどうするかだと思います。

他の市町村に遅れることなく、早い時期での大胆な方策が必要かも知れません。

私達議会も、より活発な議会活動を視野に高原町議会基本条例を制定してから節目となる5年目を迎えます。

今後、更に町民皆様への情報の提供や意見交換を積極的に行い、協働のまちづくりの一翼を担う議会として、その役割を果たして参りたいと思っています。議会の傍聴にも是非おいで下さい。

最後に町民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。



12月 定例議会 あらまし

平成30年12月定例議会は、12月12日から12月19日までの8日間の日程で開催されました。

今定例会は、同意1件、承認1件、議案13件の計15件が当局より提出され審議されました。

内容としては、一般会計補正予算（第6号）が主なもので、その他、議員の給与に関する条例の一部を改正する条例、課設置条例等の一部を改正する条例、高原町畜産振興資金貸付基金条例、農業委員会の委員の任命等が審議、採決され、そのほか、陳情2件、発議1件が審議されました。

補正予算の主な内容

■承認第6号（一般会計補正予算第5号）

- 農業用施設災害応急復旧費（28ヶ所）・・・・・・・・・・500万円
- 公共土木施設災害応急復旧費（61ヶ所）・・・・・・・・・・600万円

■議案第56号（一般会計補正予算第6号）

○債務負担行為補正

- （1）収納管理システム改修委託事業・・・・・・・・・・190万1千円
- （2）皇子原公園・林業野外活動施設管理運営委託事業・・・・・・・・3,210万3千円
- （3）御池キャンプ村管理運営委託事業・・・・・・・・・・2,141万7千円
- （4）外国語指導業務委託事業・・・・・・・・・・1,564万2千円

○諸費

過年度分町税等償還金 他2件・・・・・・・・・・・・・・・・・・103万3千円

○賦課徴収費

収納管理システム改修委託 他1件・・・・・・・・・・・・・・・・・・224万7千円

○畜産業費

高原町和牛ブランド確立対策事業補助金・・・・・・・・・・124万円

○農地費

農地耕作条件改善事業湯之元地区（暗渠排水工事）・・・・・・・・350万円

県営農業農村整備実施計画策定事業負担金・・・・・・・・・・256万円

○土地改良費

県単独土地改良事業調査計画策定（祓川地区）・・・・・・・・420万円

○教育総務費

・教材備品購入費（ICT機器整備）・・・・・・・・・・689万9千円

・学校管理費

各小学校施設修繕費・・・・・・・・・・140万円

各小学校樹木伐採事業・・・・・・・・・・97万6千円

各小学校ブロック塀改修工事・・・・1,944万円

・学校管理費

後川内中学校施設修繕費・・・・・・・・48万1千円

後川内中学校ブロック塀改修工事・・・・736万円

・公民館費

越農業構造改善センター改修工事・・・・・・・・・・1,100万円



▲改修を要するブロック塀

○公共土木施設災害復旧費（現年災害）

・公共土木施設災害復旧工事（3ヶ所）・・・・・・・・・・876万3千円

■議案第58号（一般会計補正予算第7号）

○農業振興費

・負担金補助金及び交付金

経営体育成支援事業・・・・・・・・・・170万7千円

○林業振興費

・負担金補助金及び交付金

鳥獣被害防止総合対策事業・・・・・・・・・・55万2千円

■農業委員会の委員の任命

岡元良農夫 氏

一般質問

町の考えを聞く

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

乳幼児の任意予防接種の全額助成は平成31年度から



陣 圭介 議員

○役場の組織改編は必要？

問 財政状況が厳しくなっていく中、来年度の予算編成にあたり、行政経費の見直し、経費削減という点についてどう臨んでいるか。

答 これまで行ってきた町の行政運営、財政運営について、あらゆる面からの全体的見直しが必要だと考えている。

問 組織編成を見直すにあたり、どのような点を第一に考えるか。

答 雇用創出を第一に考えた。財源が厳しくなっている

中でいかに行政経費を抑えていくかも考慮した。住民サービスに極力影響がないようにというところも考えた。

○子育てしやすい環境の整備を！

問 幼保無償化について、地方に財政負担を求める内閣府方針についてどう考えるか？

答 町村長大会において、「国の責任において、町村に新たな財政負担が生じないような必要な財源を確保すること」を、国への重点要望として決議し、国に強く要望を行った。

問 子どもの医療費の一部助成について、西諸地域で最も住民に手厚い方向で窓口負担額を統一できないか？

答 施策的なものもあり、

一律にはなかなかならない部分がある。一方で医師会としては揃えて欲しいという要望もあるようである。2市1町で話したい。

○検診受診者への乳腺密度の通知を！

問 乳がん検診後、受診者への乳腺密度の通知は自己検診の啓発に資する一方で、西諸地域では本通知が行われていない。通知の体制を整えていただきたいが。

答 西諸地域では、マンモグラフィと超音波検査を組み合わせた検査を行なっており、高濃度乳房の通知は現在考えていない。

○必要性が高い予防接種費用の助成を！

問 受験を控えた中学校3年生のインフルエンザの発症及び重症化を予防するため、予防接種費用の助成を検討できないか？

答 予防接種を委託している西諸医師会、小林市、えびの市とも検討して参りたい。

○風疹の流行を受け、任意のワクチン接種費用の助成が進んでいる。本町は？

答 国の方針に基づき対応を図っていく。

○通学路への街灯設置を早急に！

問 通学路の危険箇所調査の現状は？

答 昼間の時間帯に学校や民生委員の方からの報告をもとに現地調査を実施している。

問 昨年9月から必要性を述べている通学路の街灯設置がいまだ進んでいないが。

答 教育委員会の方で早急

に夜間の調査をする。その中で必要性を判断する。

○景観条例の策定を早急に！

問 農村景観を守る観点から景観条例の策定を検討するとのことであったが、進捗は？

答 他市町村の条例を参考にしながら県都市計画課と協議を行っており、早期の条例策定を行い景観の維持に努めて参りたい。

○効果検証を踏まえた予算計上を！

問 観光費等の予算計上に、広域連携についての基本的な考え方は？

答 圏域のより独自性のある取組を検討する必要があると考えており、今後も、連携した取組を実施しながら、広域的な観光推進体制の確立により「稼ぐ力」を引き出す観光によるまちづくりを検討・協議していかねければならない。





宮崎県合併浄化槽指導要領に基づく行政指導を



中村 昇 議員

問 合併浄化槽の排水使用料として、高千穂土地改良区にこれまで年間6,000円支払ってきた。昨年の県の指導要領に基づき道路の側溝に排水する場合は対象外になることを指摘し、改良区と協議を行ってきた。その結果、改良区から該当しないとの回答があり、契約の解約を行った。しかし、今年は使用料の請求書が送られてきた。町内では他の改良区では使用料は取っておらず、町民の間に不公平が生じている。高千穂土地改良区へ県の規定に基づき行政指導をすべきではないか。

答 宮崎県の指導要領に基づき指導する。

○町道の整備を



町道二葉並木線

問 町の総合計画では、町道は町民の理解と協力を得ながら計画的に整備に努めるとしている。しかし、駅前から並木に至る町道等交通量の多い道路は傷み方も早い。計画の優先順位にどう反映されるのか。

答 二葉・並木線は都市計画道路と位置付けてあり、通常の補助事業で対応できないが、ひび割れ等の激しい箇所は補修工事を実施した。今後は通学路でもあり、歩道整備を含めた整備ができないか検討したい。

○広原十文字交差点に信号機を

問 町長は6月議会で信号機設置が進展していないと述べ、今後も県警本部へ要望していくと答弁されている。日本共産党が行った対県交渉でも要望したが、県警は設置が難しい点として①信号機が近接する②急カーブである③車両の離合ができないなどの説明があったが、県警本部のみだけでなく、まず、町が交差点付近の車の離合ができるように町道の改良を行う必要があるのではないか。

答 信号機設置のために町道、県道の改良など早急に策定する。

○病児保育を

問 町では病後児保育のみをすすめようとしている。保育所では隔離部屋などの専用スペースを持ち、インフルエンザ等でも対応できるような施設になっている。病児保育はせず、回復期だけの病後児保育では働くお母さんたちの期待に十分応えられないのではないかと。病児保育事業の実施は検討したい。



○公営住宅管理条例改定の対応は

問 主な改正点について全国で保証人を確保できず、公営住宅に入居できない事態が発生し問題となり、今回保証人の義務付けは行わないとしているが。

答 条例の改正はしないが、特別の事情があると認める者については保証人は付けていない場合もある。

問 家賃の減免について「民生部局」とも連携し、収入等の状況や事情を十分に把握したうえで、適切に行うことが必要と追記しているが。

答 現在、町民福祉課と連携して対応している。

問 入居者条件の説明中に例示されていた「国税、地方税を滞納していないこと」の記載を削除されたが、どう考えるか。

答 改正を尊重しながら、柔軟に対応していきたい。

老人クラブの組織強化を!!



益本 一博 議員

問 国の調査では、「相談

や世話をしあう親しい友人がいるか」という問に高齢者の25・9%が「いない」と回答している。隣人との会話もなく、困ったことがあっても我慢して不便な生活をしている高齢者が多い。

答 高齢者の外出と交流を促すために、町内各地で「茶飲み場」「100歳体操」お話しボランティア」等を実施している。また、配食サービスによる見守り活動も行っている。

問 高齢者が増えているのに老人クラブの会員が減少している。老人クラブの存在は重要だ。どう育成する

のか。

答 町内老人クラブは22クラブ、会員は738人。今後、高齢者が健康で住みよい地域を創るために、会員増強、活性化に向けて積極的に支援する。

問 家に引きこもり、他人と交わらず、孤独な生活をしている高齢者がいる。高齢者世帯のうち、4世帯に1世帯が「独居世帯」という。孤独死につながるものが心配だ。行政と地域が協力し、高齢者を見守り、地域の情報を共有する事が重要だ。

答 行政、区、班民生児童委員、ボランティアが見守り活動を行っている。今後生活支援コーディネーターを配置する予定。

問 若い会員が喜んで参加する事業の工夫が必要だ。就労年齢の高齢化、生

活環境の変化、人間関係の希薄化等も要因。老人クラブと一緒に楽しく組織づくりを後押しする。

問 「老人クラブ」という名前に違和感がある。名前を考えることも大切だ。

答 他の自治体で名称の変更に取り組んでいる。意見を聞き、方法等を検討する。

問 老人クラブの新規加入者が少ない。会員の考え方に差がある。若い会員のための事業を考えていくことも重要。町・教委・地域・ボランティアやスポーツ愛好団体等のバックアップが不可欠だ。

答 老人クラブの組織強化とコミュニティづくりが重要。地域の情報を持っているのは「老人クラブ」だ。公的なサービスだけでなく、地域での「支え合い」や「助け合い」の充実が重要だ。

問 地域で、自助・共助の老人クラブの組織強化とコミュニティづくりが重要。地域の情報を持っているのは「老人クラブ」だ。公的なサービスだけでなく、地域での「支え合い」や「助け合い」の充実が重要だ。

答 健康、友愛、奉仕（三大運動）を柱に、シニアパワーを生かした社会参加活動を実践する。



▲老人クラブ運動会の様子





神武天皇の胸像を皇子原公園に建立を



温谷 文雄 議員

問 神武天皇は、皇子原でお生まれになり、やがて日本統一され初代天皇となられた。神武天皇は、高原町民であり榮譽を祝するためお生まれの地に胸像の建立を。

答 民間の方が皇子原公園の近隣地に神武天皇の胸像を建立しており考えていない。

○町内小中学校の統廃合について

問 2年後、高原小学校を除く小学校はクラスによっては複式学級になる。平成22年、町内全地域から37名の方が述べ7回の会議を行い、平成25年度から町内の

小中学校は統廃合すべきであるとの答申をしている。複式学級なると児童や保護者の為にも不安を払拭するため指針を示して欲しい。

答 今後、地域住民や児童生徒の保護者の声を伺いながら、平成31年度から新しい学校の在り方を含めた統廃合の検討を進める。



▲複式学級の授業の様子



▲町道二葉村移線

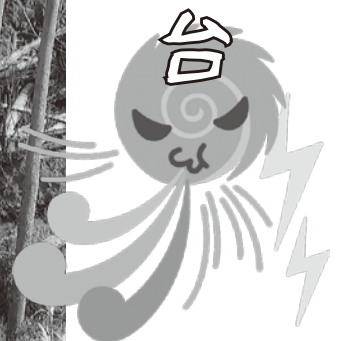
○町道二葉村移線の工事再開について

問 当該路線は、途中で工事が長年ストップしている。道路は繋がってこそ機能を果たす。地権者の同意も得られると聞くと工事の再開は。

答 平成28年度から、都市計画マスタープランの策定作業を実施している。JRとの協議や総合評価を行い、都市計画の変更手続きを得て財源等を見据えながら事業再開に取り組む。



台風24号による被害状況と対策について



反田 吉巳 議員

○移住・定住対策について

問 町長は、選挙公約の中で狭野地区に町営住宅を掲げられたが今後の計画は。

答 公約の具体的な実施については、現在進めている事業の効果を検証しながら私の任期中に計画したい。

問 広原地区の住宅建設の整備進捗状況と今後の計画は。

答 平成31年に住宅2棟の建設工事に着手する予定です。後は財政状況等を見ながら年次的に整備していく計画です。

○災害対策について

問 台風24号による被害状況と対策について。

答 農水産業関連、公共土木施設関連、林業関連で大きな被害が出た所ですが、今後あらゆる情報をもとに早期復旧に努めて行きます。

問 特に被害の大きかった風倒木による2次災害の対策について。

答 森林の管理については、森林、林業基本法第9条で所有者が適切に管理するよう規定されているが、今回の風倒木については、処理に難しい事案も想定され関係機関や事業者等と連携を図り対応していく。

○農政について

問 集落営農組合の法人化

に向けてどの様に考えるか。

答 現在任意の組織では、事業展開上の問題があり、法人化に向けた取り組みが必要と考えている。地域農業が抱えている問題解決に向け地域の特性を生かした事業の展開が重要と考えている。

問 中山間等直接支払い交付金について。

答 この交付金は、受託作業や水路維持管理、地域文化の継承等多岐に渡り活用されているが平成31年度をもって4期対策が終了する予定です。5期対策が不透明な中、何らかの対策を取る時期に来ており持続可能な手法への切り替えを促している。



▲台風24号による倒木被害

総務経済常任委員会

調査日・・・平成30年10月29日～31日

◎調査地・・・山形県河北町 ^{かほく} 人口18,716人

1) 調査事項

①公共交通について

- ・9人乗りのワゴン型車両2台を交通事業者に運転業務を委託。
- ・免許証自主返納者に対し、路線バス1年分の定期券発行。
(希望すれば、1年ごとに更新可能)
- ・支出1,871万9千円(委託料、増便で9月補正有)、収入178万円

②議会活性化への取り組みについて

- ・議会基本条例の見直しについて
- ・高校生議会開催について

2) 考察

民営のバスが減少し、町民の足を確保するため、町営のバスを運行していた。利用者は、主に運転免許証を返納した老人や高校生と聞いた。

18歳から投票権が発生したことで高校生議会を実施していた。

◎調査地・・・飯豊町 ^{いいで} 人口7,195人

1) 調査事項

①農業の現状と課題について

- ・町の84%が山林、田園散居集落、農地面積は2,240ha
- ・主な農産物
(水稲、畜産、アスパラガス・花き・ミニトマト・いちご)
※米沢牛の4割を飯豊町で肥育
- ・耕作放棄地再生について



道の駅付近の荒れ地を利用し、そばを栽培、収穫振る舞いや販売をしていた。

・新規就農について

東京で行われる、新規就農希望者への情報提供と研修生募集

②定住・移住政策について

- ・ふるさと定住いいですね条例(定住奨励支援)
- ・住宅団地整備
- ・飯豊型エコハウス等



③デマンド交通について

- ・導入の経緯、システム、交通運行実施体制、利用料等について

2) 考察

- ・「日本で最も美しい村連合」に加盟し遠くに飯豊山を望む盆地である。
- ・親元就農者と新規就農者との違いは、親元就農者は、水稲、肉用牛、野菜がほとんどであるが新規就農者は花き、野菜であり労働の集約型で初期投資の少ない作物を選ぶとのこと。
- ・デマンド交通は、社会福祉協議会が運営していた。
- ・議会が関与しない為、ダイヤ改正等がスムーズにできるとのこと。

文教厚生常任委員会

調査日…平成30年11月14日～16日

◎調査地…埼玉県 ^{みなの}皆野町 人口9,898人

1) 調査事項

①子育て支援について

- ・出産褒賞金…第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円を支給
- ・給食費の助成…小中学校に3人以上の子供が就学している場合、年少者の2名以外の子供の給食費を免除している。

②人材育成について（皆野っ子学力推進事業等）

- ・自主学習ノート…アンケートを実施結果、学習時間が1時間程度であったことから、学習習慣の動機づけということで小中学生に各1冊ずつ配布している。年間5冊まで。

③学校統廃合について…以前小学校は6校、中学校5校あった、現在小学校3校、中学校1校に統合されている。



2) 考 察

皆野町では予算規模が少ない中、子育て支援や包括支援事業を健康づくり担当の保健師5名で行っており、電話を受けると相手が分かる関係にあり横の連携がスムーズに出来ており、子育て事業が充実していると感じた。学校統廃合に向けては反対する地区もあったが、積極的に進めていく人が地域にいて特に大きな問題にはならなかったそうである。

◎調査地…埼玉県 ^{よりの}寄居町 人口33,843人

1) 調査事項

①子育て支援について

- ・子育て支援給付金支給事業…第1子2万円、第2子3万円、第3子以降5万円。（第3子以降予算の一部、埼玉県多子世帯応援クーポン事業を活用）
- ・絵本支給事業…出生児1人につき絵本1冊支給。



②健康づくりについて

- ・よりのスマイルポイント事業…毎日の健康づくりに取り組むごとにポイントを付与し、50ポイントごとに全員に500円分の買い物券又は図書カードを贈呈。100ポイント達成者には抽選会を実施し、米などの記念品を贈呈。
- ・よりのプラス1000歩運動…通信機能付の活動量計を配布し役場などで読み取る。平均歩数を開始月と終了月で比較結果、歩数が3年連続増加、運動習慣の改善が見られた。

③議会広報紙について

- ・全国町村議会議長会広報発行コンクールにおいて、平成29年度に最優秀賞を獲得。読まれる議会だよりづくりを進めている。

2) 考 察

- ・寄居町はホンダ寄居工場があり従業員約2000名、今後狭山工場が閉鎖され、約4600名が寄居工場に集約される予定である。役場庁舎は7階建てであり、庁舎の中は住民各種手続きがワンストップでできるように住民系の窓口で子育て支援の手続きが行われるようなレイアウトになっていた。
- ・平成31年度に庁舎の7階のスペースを改装し子育て世代包括支援センター立ち上げる。
- ・保健師を本庁舎に集約するなど、保健師が動きやすい体制がとられていた。

平成30年 第5回定例会議議決結果

議案番号	件 名	議決 結果	① 益本 一博	② 松元 茂春	③ 北迫 泉	④ 中村 昇	⑤ 温谷 文雄	⑥ 反田 吉巳	⑦ 入佐 廣登	⑧ 陣 圭 介	⑨ 清水 公雄	⑩ 宮司 勲
同 意 第 4 号	農業委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
承 認 第 6 号	専決処分について（専決第7号） 平成30年度高原町一般会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 4 6 号	医療行為等における損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 4 7 号	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例及び町長 等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 4 8 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条 例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 4 9 号	高原町手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 5 0 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条 例	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	—
議 案 第 5 1 号	特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を 改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	欠	—
議 案 第 5 2 号	議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関す る条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	●	○	○	○	●	欠	—
議 案 第 5 3 号	課設置条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議 案 第 5 4 号	高原町畜産振興資金貸付基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 5 5 号	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 5 6 号	平成30年度高原町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第 5 7 号	平成30年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算 （第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—
議 案 第 5 8 号	平成30年度高原町一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳 情 第 2 号	後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担 の継続を求める意見書を国に提出することを求める陳情	不採扱	●	●	●	○	●	●	●	●	●	—
陳 情 第 3 号	介護従事者を確保するために実効性のある対策を講じる ことを求める意見書を国に提出することを求める陳情	不採扱	●	●	●	○	●	●	●	●	●	—
発 議 第 1 号	幼保無償化に係る財源を国の責任において確保するこ とを求める意見書（案）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件	閉会 中調 査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

鹿児島地区茶飲み場



「じゃねどー」「じゃつとやー」?

毎回、13人、15人のほぼ同じ顔がそろつて、100歳体操が終わると、持ち寄つたお菓子や手作りの漬物などを食べながら、うわさ話や思い出話に花が咲く。「じゃねどー」「じゃつとやー」「ちごどー」と昔の高原の言葉が飛び交い、笑いが絶えない。温かい雰囲気とゆつたりとした時間は、寿命を大きく延ばしてくれそうな気がする。いつまでも元気で願う気持ちになる。

地域にはまだまだ一人暮らしのお年寄りが多くなっている。男性の積極的な参加と、もっと人数が増えることが望まれる。

編集後記

◇もうすぐ「平成」が終わり、新しい元号に変わります。平成の30年間は、日本にとって大変な時代でした。◇地震・豪雨・台風等の自然災害が日本各地で発生し、いまだに多くの人が避難生活をおくっています。◇また、政治的にも大きく変化のあつた時代でした。政権が目まぐるしく入れ替わるなかで、消費税は3%から8%にふくれあがり、今年の10月からは10%になります。苦しい財政の中、福祉対策が大きく進みました。◇世界では、東西の冷戦が終わる中、「グローバリズム」が叫ばれる中、まだ多くの国で戦争や内戦が続いており、アジアの環境も大きく変化しています。◇新しい時代が、平和で安心して生活できる時代になることを祈らずにはいられません。

(益本一博)